参考資料－１

現行プランにおける令和７年度の主要事業について

環境・くらしワーキンググループ

基本政策２　生活環境

目指す姿１　犯罪・事故のない地域の実現

【施策の方向性】

（１）防犯意識の向上と防犯活動の促進

（２）犯罪被害者等への支援

（３）「人優先」を基本とした交通安全対策の推進

（４）総合的な雪対策の推進

（５）自立した消費者の育成と消費者被害の防止

＜令和７年度の主要事業＞

①安全・安心なまちづくり事業　　１９，６６９千円

県民や地域の防犯意識を高め、犯罪被害者等に対する支援の充実を図り、総合的な雪対策に取り組むほか、交通安全対策を推進して、県民が安全に安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指す。

・あきた性暴力被害者サポートセンターの運営

・多機関ワンストップサービス体制の構築（Ｒ７新規）

・除排雪団体の立ち上げ等支援

・高齢ドライバーの交通事故防止のための啓発

②消費生活安全・安心事業　　２５，２４３千円

デジタル化の進展、成年年齢の引き下げ等の社会情勢の変化による消費者トラブルの多様化・複雑化に対応するため、悪質事業者への法執行力の強化、消費生活相談体制の充実、消費者教育の推進に取り組む。

・リーフレットや啓発動画など多様な媒体を活用した各年代向け消費者問題の啓発

・消費者教育の推進や相談員の研修参加など市町村の取組への助成

【成果指標】

指標名［単位］	実績値				目標値
	Ｒ元	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
刑法犯認知件数［件］	2,162	1,871	2,403	2,576	前年比減
犯罪被害者等に対する関心と理解を深めるイベント等への参加者数［人］	250	183	403	257	350
交通事故死者数［人］	40	33	32	31	27 以下
交通事故重傷者数［人］	250	188	170	197	200 以下
除排雪団体数(累積)[団体]	46	63	69	74	80
県・市町村消費生活センターにおける消費生活相談員の資格保有率［%］	64	69	71	64	75

基本政策２　生活環境

目指す姿２　快適で暮らしやすい生活の実現

【施策の方向性】

（１）食品の安全の確保と水道事業の基盤強化への支援

（２）生活衛生関係営業者への支援

（３）人と動物が共生する地域づくり

＜令和７年度の主要事業＞

①あきたの食安全・安心推進事業　　１５，５２２千円

食品事業者に対し、ＨＡＣＣＰに沿った衛生管理の制度化を周知し、遵守させるとともに、秋田県ＨＡＣＣＰ認証の取得を推進し、自主的衛生管理の強化を支援することにより、県産食品の安全性と信頼性の向上を図る。

・ＨＡＣＣＰ認証制度の普及

・食品衛生推進員の巡回指導

②生活衛生関係営業育成事業費　　２３，００６千円

県民の日常生活と密接な関わりを持ち、公衆衛生の向上に寄与する重要な役割を担う生活衛生関係営業について、営業施設の改善向上、経営の健全化、営業の振興等を通じて衛生水準の維持向上を図る。

・経営に関する相談指導や後継者の育成等に関する支援

③阿仁熊牧場利活用推進事業　　３，１８０千円

「阿仁熊牧場」において、命の大切さや動物愛護、自然との共生などを学ぶ場としての認知度や満足度を向上させるための活用支援を行い、北秋田市と連携したイベント等の実施により、集客の確保に繋げる。

・県内小中学校を対象とした校外学習の誘致等のＰＲ等の支援

④動物にやさしい秋田推進事業　　２１，２４７千円

人と動物が共生する社会の形成を推進するため、動物愛護センターにおいて犬猫の譲渡推進や動物愛護の普及啓発に取り組み、県民や飼い主等の意識の向上を図る。

・犬猫の適正飼養・譲渡の推進に係る取組

・フォトコンテスト、情報発信等のＰＲ

【成果指標】

指標名［単位］	実績値				目標値
	Ｒ元	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
食品安全に関する研修会・懇談会等への参加者数[人]	8,566	5,425	5,001	5,939	9,000
秋田県生活衛生営業指導センターへの相談件数［件］	513	483	506	515	500
動物愛護センターへの入場者数［人）	52,070	8,492	9,968	13,620	17,000

基本政策３　自然環境

目指す姿１　良好な環境の保全

【施策の方向性】

（１）大気、水、土壌等の環境保全対策の推進

（２）八郎湖・十和田湖・田沢湖の水質保全対策の推進

＜令和７年度の主要事業＞

①大気汚染等常時監視網整備事業　　２１，５４２千円

大気水質等の汚染を防止し、県民の健康の保護等を図るため、各環境法令に基づいて大気環境等を常時監視するための監視網整備を行い、環境基準の達成状況等を把握するとともに、緊急時の速やかな対応を図る。

・大気水質の汚染状況等の常時監視、ウェブサイトや環境白書での測定データの公表

・大気水質の汚染状況等を常時監視する装置の更新

②有害化学物質等対策事業　　４，１４３千円

産業廃棄物焼却処理施設や建築物の解体工事等から排出される各種有害化学物質に関して、監視・指導を行うことにより、環境の保全と産業廃棄物の適正な処理を確保する。

・産業廃棄物焼却処理施設の排出ガスに含まれるダイオキシン類や水銀の測定

・アスベストを排出するおそれのある作業等の監視と一般大気中のアスベストの監視

③環境放射能測定事業　　１２，９０６千円

県民の安全・安心を確保するため、食品、廃棄物などの放射能を測定し、結果を迅速に公表する。

・空間放射線量の常時監視、水道水等の放射能の測定

④大気・水質等常時監視事業　　１６８，４１０千円

環境法令及び秋田県公害防止条例に基づき、大気の汚染や公共用水域及び地下水の水質の汚濁等の状況を常時監視し、公表する。

・人の健康に影響を及ぼすおそれのある有害大気汚染物質のモニタリングの実施

・海水浴場や湖水浴場の水質調査の実施及び結果の公表

・大気の汚染、公共用水域及び地下水の水質の汚濁の状況の常時監視

・大気、水質・底質及び土壌のダイオキシン類による汚染の状況の常時監視

・玉川酸性水の中和処理施設管理業務の委託

⑤八郎湖「わがみずうみ」創生事業　　８５，７３９千円

八郎湖の水質の着実な改善を図るため、「八郎湖に係る湖沼水質保全計画」に基づく総合的な水質保全対策を推進するとともに、新たに第４期湖沼水質保全計画を策定する。

・八郎湖の水質浄化を促進するため、湖内浄化対策の実施

・アオコ発生による悪臭等の被害を防止するための対策の実施

・流域の小学校等で八郎湖をテーマとした出前授業等の環境保全への意識啓発

⑥ＰＣＢ廃棄物処理対策推進事業　　４，９９５千円

ＰＣＢ廃棄物の適正処理の推進や処分義務者不存在の高濃度ＰＣＢ廃棄物を代執行により処理する。

・ＰＣＢ廃棄物の確認、代執行の準備

⑦能代産業廃棄物処理センター環境保全対策事業　　１５７，０１１千円

能代産業廃棄物処理センターについて、国の財政支援を得ながら汚水処理等の環境保全対策を実施する。

・水処理施設等の維持管理、環境モニタリングの実施

⑧環境保全センター管理運営事業　　４８３，２７２千円

秋田県環境保全センターの管理運営を行う。

・公共設置の産業廃棄物最終処分場の維持管理の実施

⑨環境保全センター整備事業費　　１６２，７２５千円

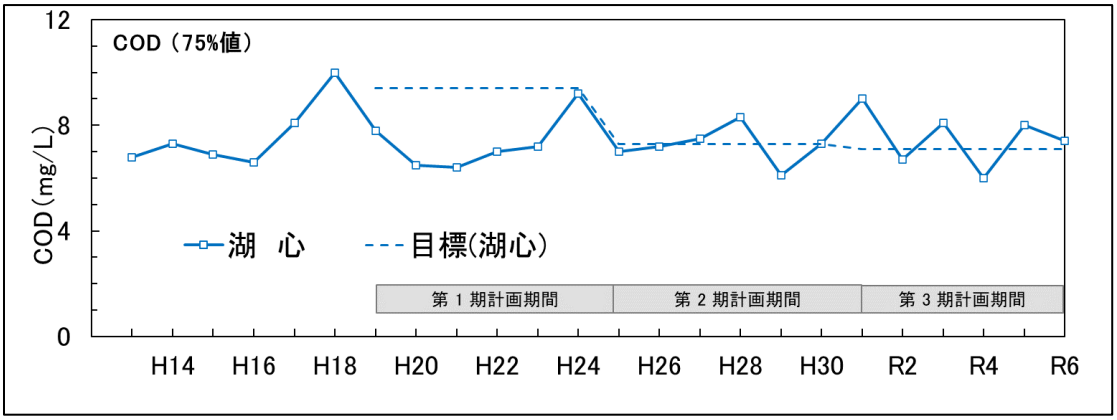
秋田県環境保全センターの施設整備を行う。

・Ｄ区処分場の施設整備工事の実施

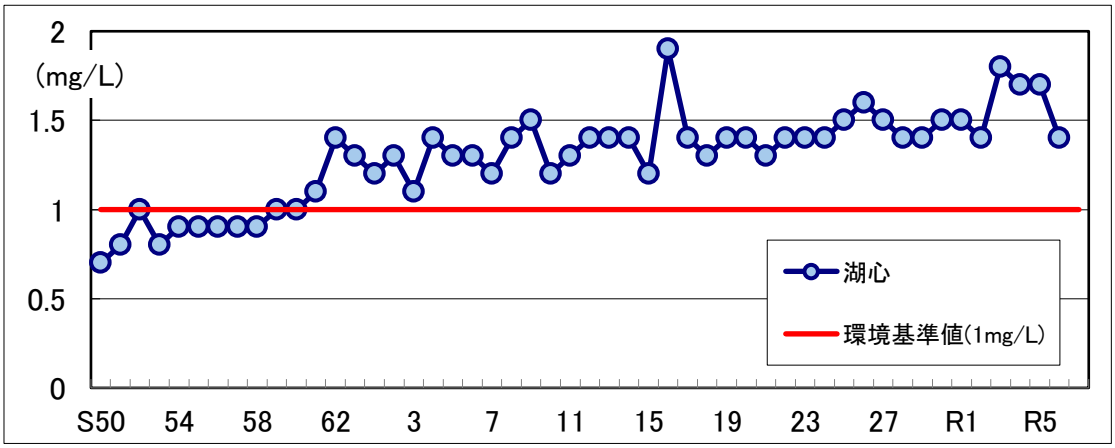
【成果指標】

指標名［単位］	実績値				目標値
	Ｒ元	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
大気循環に係る環境基準達成率（光化学オキシダント及びＰＭ２．５を除く）［%］	95.7	100.0	100.0	100.0	100.0
水環境（３大湖沼を除く公共用水域）に係る環境基準達成率［%］	89.0	94.8	94.8	95.7	95.0
八郎湖のＣＯＤ７５%値（湖心）［mg/L］	9.0	6.0	8.0	7.4	7.1
十和田湖の透明度（湖心）［m］	10.9	8.8	10.8	11.8	12.0
田沢湖のｐＨ［湖心］	5.0	5.3	5.4	5.3	6.0

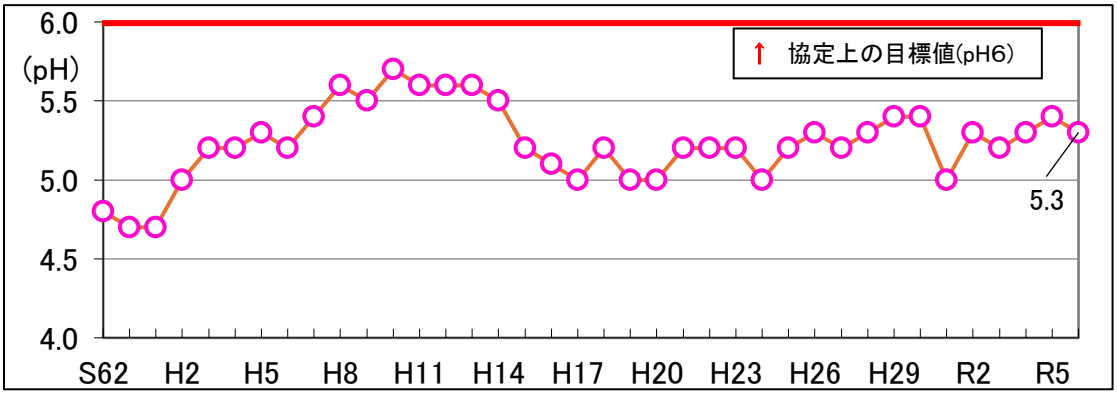
【参考：八郎湖のＣＯＤ７５%値の経年変化】



【参考：十和田湖のＣＯＤ７５%値の経年変化】



【参考：田沢湖（湖心）のｐＨの経年変化】



基本政策３　自然環境

目指す姿２　豊かな自然の保全

【施策の方向性】

（１）生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理

（２）野生鳥獣の適正な保護管理と被害対策の推進

＜令和７年度の主要事業＞

①生物多様性保全強化事業　　４，３９９千円

「秋田県生物多様性地域戦略」に基づき、生物多様性を保全するための取組を行う。

・奥森吉青少年野外活動基地における環境学習会の実施

・企業版ふるさと納税を活用した過去の開発で失われたブナ林の再生

②自然公園等施設整備事業　　６３，１６５千円

自然公園内の自然環境の保全と公園利用者の安全性・快適性の向上を図るため、国立・国定自然公園施設を整備する。

・男鹿国定公園、栗駒国定公園、十和田八幡平国立公園内の施設改修等の実施

・県立自然公園の国立・国定公園の新規指定、大規模拡張に向けた県民の機運醸成を図るためセミナーを開催

③県単自然公園等施設整備事　　５６，１６２千円

自然公園内の自然環境の保全と公園利用者の安全性・快適性の向上を図るため、県立自然公園施設を整備する。

・県立自然公園内の施設改修の実施

・高校山岳部や社会人山岳会等と連携した登山道等の整備や清掃

④白神山地保全推進事業　　１０，０８９千円

白神山地の世界自然遺産としての価値と素晴らしさを将来にわたって守り伝えるため、保全に向けた多面的な取組を推進する。

・「あきた白神認定ガイド」の資格を付与するための講習及び試験の実施

・「あきた白神認定ガイド」の中核的役割を担う人材の確保を目的とした地域おこし協力隊インターン制度の実施

⑤野生鳥獣被害防止対策事業　　４１，４３５千円

ニホンジカ・イノシシの分布拡大を抑制するための捕獲事業等を推進する

とともに、カワウ・カモシカの管理対策を推進するため,生息調査等を行う。

・ニホンジカやイノシシの捕獲対象地調査及び捕獲

・県内３河川におけるカワウのコロニー等調査

・カモシカの生息密度調査

⑥ツキノワグマ被害防止総合対策事業　　１１７，０３５千円

ツキノワグマ被害防止のために県民への普及啓発を行うほか、市街地出没など緊急的な事案に迅速に対応するための体制整備と人材育成を図る。

・狩猟免許の取得や銃（散弾、ライフル）の購入経費に対する補助

・人身事故防止のための普及啓発及び事故現場の検証等による被害防止対策の実施

・ツキノワグマの生息数のモニタリング調査

・住宅周辺における藪の刈払いによる緩衝帯整備や放任果樹の伐採よる出没抑制対策

【成果指標】

指標名［単位］	実績値				目標値
	Ｒ元	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
自然環境学習拠点施設等の利用者数［人］	34,879	38,649	36,988	35,741	35,000
狩猟者の登録数［人］	1,689	1,776	1,727	1,798	1,900